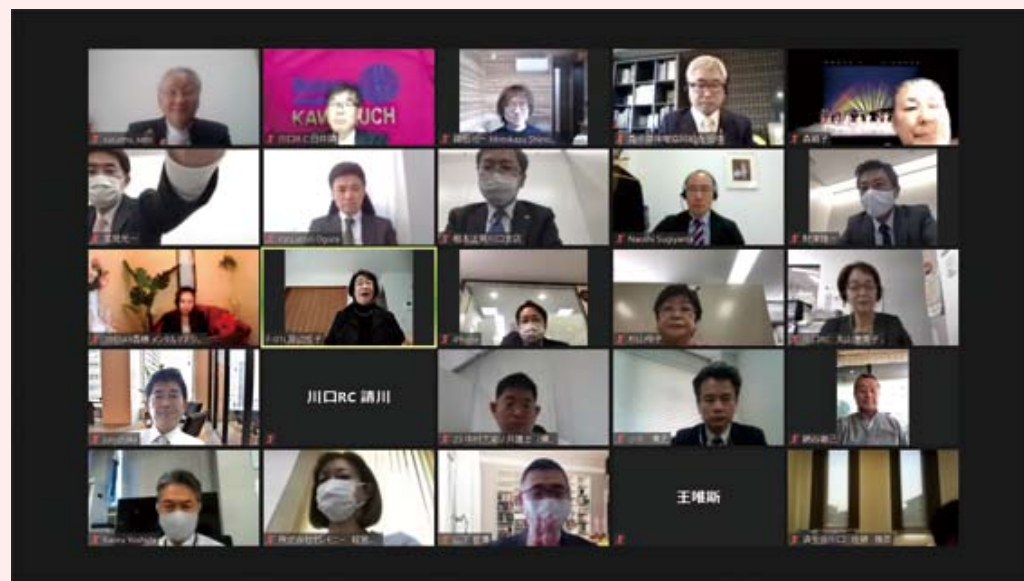




今回の完全オンライン例会風景(モニターより)です。  
緊急事態宣言が早く明けて、みんなで集まって例会をやりたいですね。

# ●1月28日出席

|        |        |
|--------|--------|
| 本日分    | 1月28日  |
| 会員数    | 99名    |
| Zoom参加 | 38名    |
| 会場参加   | 0名     |
| MU     | 3名     |
| 出席率    | 46.07% |

2月 4日 **オンライン例会**  
会 場／ 配信会場は無し  
点 鐘／ 12:30～

## 2月予定

2月23日 **社会奉仕事業:「スマホ標語コンクール」表彰式**  
会 場／ フレンジア(川口駅前市民ホール)  
点 鐘／ 14:00～

11日と18日は休会です。  
※18日のIMは延期になりました。

## 川口 RC WeeklyReport

No.22

### ●オンライン例会 第2958回

#### ●事務局

〒332-0012 川口市本町1-18-5 NTTビル1F  
TEL 048-222-0124 FAX 048-222-0118  
http://www.kawaguchi-rc.com  
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp



2020-21年度  
会長:増井 千恵子 幹事:杉山 直

Rotary

国際ロータリー第2770地区  
第11グループ



ロータリーは機会の扉を開く

## あいさつ

増井 千恵子

今日は2回目の完全オンライン例会開催です。  
ホームステイの影響で、ロータリーの「奉仕経営物語」という本を読み始めました。著者は高良朗(タカラアキラ氏)川崎西RC会員、地区の2016-2017年度パストガバナーです。この本の序文に、私達の人生は歴史の中の一部であり、今現在の自分の人生を舞台にたとえてどのように演じるかは人それぞれ違いますが、その時の出会い縁を良いものにするかどうかは、やはり人それぞれの人生観と意思によるものでありました。

私にとって、ロータリーとの出会いで一番学んだことは「奉仕の理念」です。ロータリーを知り、仲間と一緒に奉仕の機会を多く持つことができる場所となりました。自分達が、公私の別なくあらゆるところに奉仕の理念を实践して、さらに理解と友情を地域社会や国際社会にも広げるといふ素晴らしさに触れることが出来ました。

この前、1月の理事会でクラブから後援を頂きました「奉仕事業」について皆さんにお話をします。この事業は、川口市が「本当に住みやすい街大賞 2年連続一位」に選ばれて、これを祝しての川柳コンテストの開催です。主催は「川口裏路地計画実行委員会」という会の中の「川柳コンテスト実行委員会」です。この会は、まさに地域社会をよくしたいという発想から「川口らしさ」を残したい、作っていきたい、そんな思いから集まった有志で立ち上げました。きっかけは、新井さんが本町一丁目にシェアハウスを作ったことです。本一通りの昔からの歴史ある裏路地の街並みを残したいね、みんなが集えるもっと魅力あるところをしたいね、とおよ2年前頃スタートしました。こんな事をやってみようこの会を立ち上げるきっかけは何かというと、一番の基礎になるのはロータリーで経験した奉仕の理念です。奉仕のあり方について勉強し実践したことが原因となり、地域社会の貢献につながることに目を向けました。メンバーはロータリアンをはじめとてたくさんの方々が参加しています。さらにこれから先、長〜く活動していく事を目指しています。川口駅東口周辺は、昔ながらの個人商店と大型の新施設とがバランスよく混ざりながら、川口らしい景色を作ってきました。しかし、最近では大規模開発がさらに加速、川口に昔からある個人商店が急激に減っていくことに寂しさを感じていました。そこで私たち「川口裏路地計画」は、川口らしさを残したい、作りたいという思いに火がつけました。始めの取り組みとして、街の中に小さな小さな発信基地として3つの掲示板(本町、幸町)が完成しました。それに続き、この「ウラロジ新聞」の発行をしています。街の人と楽しくつながりながら話を聞いて「受け継ぎたい川口」や「伝えたい川口」を発信予定。私たちの小さな発信から、街の人たちと、川口への愛情の芽を育てたいと思います。まずは、川口駅東口周辺エリアの本町、幸町、栄町から少しずつ広がっていければと思います。昔、裏路地にあったような人との結びつきを大切にしながら、魅力ある川口の街を作り出していきます。

なぜ、この時期に、なぜ、川柳大会を開くのか!!というのは、とにかく、元気が出ること、楽しい!面白い!と思えることを開催したいと思いました。そして、ただ、面白いだけでなく、そこにある、ちょっと感動すること、本音でありながら真実が見えてくること。そういったところも、大切にしたいと思います。そんな思いを知るのに、川柳というのがピッタリだと考えました。また、このコロナ禍であっても安全に開催できるものと考えました。川柳は文字があればみなさんが感動を共有できます。いまの時期にピッタリだと思いませんか?

文化に関わる事業は本当にたくさん中止になってきていると思います。でも、何かを作る気持ち、作られたものを共感する気持ちは、絶対に大切にすべきです。このような時期だからこそ、少しススッと笑い、感動したり、真実を感じたり、共感したり、そんな心がふっと暖くなるような時間を過ごして欲しいと考えています。

3月の川口市政便りに川柳募集案内が載りスタートします  
皆様には色々のご協力をよろしくお願いしまして私の話を終了いたします